

# 建コン協九州支部が総会 インフラDX推進の環境整備を 産学による人材育成の実現に向け検討継続



総会の様子

（一社）建設コンサルタント協会九州支部（田中清支部長）は18日、2023年度の定時総会をオリエンタルホテル福岡博多ステーションで開催。発注者とのパートナーシップの維持向上や魅力あふれる職業分野の確立に

向けて活動を推進することなどを確認した。田中支部長はあいさつの中で、国土交通省がBIM/CIMを原則化し、調査、計画・設計、施工、維持管理のすべての工程で三次元データの活用による事業全体の生産性向上が本格化することに

触れ「公共事業でインフラDXを推進する流れは今後、中小を含むすべての建設業界に広がる。データプラットフォームのフォームの構築や、歩掛り・直接経費の改定



田中支部長

などの対応する環境づくりを、九州地整や関係国会議員との意見交換会で強く訴えていくと決意を示した。併せて、九州大学の園田佳巨副学長との勉強会を継続し、産学によるインフラDXの人材育成の実現に向けた検討を進めていくとした。また、建コン協の西日本4支部が昨年にも合同提言した『2050年の人々の暮らしを見据えた未来のカタチ』の実現の際に主役となる若者との意見交

換も進め「若者の入職に繋げたい」とも話した。

総会では、23年度に▽建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備▽技術力と品質の確保・向上の促進▽広報活動の強化と社会貢献活動の推進▽職業倫理の保持と法令順守の徹底▽会員であることによ

る便益向上の一層の促進▽運営方針として事業に取り組むことを報告。このうち技術力と品質の確保・向上では、生産性向上に繋がる各種施策・先端技術の情報提供や、受発注者それぞれの役割を踏まえた国土強靱化を含むSDGsへの取り組みなどを促進していく計画だ。

また、役員改選では、小澤修三（株）東九州コンサルタント代表取締役が新理事、愛敬圭二（株）中央コンサルタント（株）福岡支店参与が新監事に就いた。小澤理事は対外活動部会の副部長、愛敬監事は技術部会の副部長をそれぞれ務める。支部長・副支部長はじめ、残る役員は留任。